

上田市教育委員会 11 月定例会会議録

1 日 時

平成 29 年 11 月 16 日（木） 午後 3 時 10 分から午後 3 時 33 分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ 5 階 上田市教育委員会 第一会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	小林 一雄
教育長職務代理者	城下 敦子
委 員	寺 島 滋
委 員	北 沢 秀雄
委 員	平 田 利江子

○ 説 明 員

中村教育次長、浪方教育参事、小野沢教育総務課長、高木学校教育課長、小林生涯学習・文化財課長、唐澤人権同和教育政策幹、池田スポーツ推進課長、久保田丸子地域教育事務所長、清水真田地域教育事務所長、清住武石地域教育事務所長、竜野中央公民館長、村山第一給食センター所長、滝沢城南公民館長、倉澤博物館長

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 小学校外国語教育の先行実施について（学校教育課）

○資料1により高木学校教育課長より説明（要旨）

平成32年度から始まる新学習指導要領への円滑な移行ができるよう、特例として国が定めた移行措置としての、総合的な学習の時間数を減じた年間15時間に加え、新学習指導要領による授業時間数を確保するため、年間20時間を上乗せした先行実施を行うことになった。指導内容については、小学校3・4年生は外国語活動を年間35時間、小学校5・6年生は外国語科を年間70時間実施する。

教材については、国が作成する新教材を使用するとともに、市教委が配布するデジタル教材を適宜活用する教育課程編成及び授業時間数について、小学校英語教科化推進委員会からの提案を受け、先行実施分の年間20時間については、①モジュール学習（15分程度の「帯学習」と呼ばれる短時間学習）の導入、②日課の工夫など、各小学校の実情に合わせて学校長が決定することとなった。

市教育委員会としての支援体制については、小学校英語教科推進委員会の設置、英語教育担当指導主事による学校訪問及び授業支援、教員研修（講演会、公開授業など）の実施、ICT機器を活用した授業の推進、ALTの小学校への派遣時間増加に向けた配置見直しと派遣計画の作成、準備に要する費用（消耗品）の予算化を進めていく。

○質疑

○北沢委員

この件については良い方向に進んでいると思う。学習形態、学習内容については、各小学校の実情に合わせて、履修できるようにしていただきたい。特に同じ中学校区の小学校で学習内容が偏らないように。例えば、第一中学校に通ういくつかの小学校で十分に協議し、その結果を履修内容に反映したい。また、その結果を次年度に生かせるよう進めてほしい。

○小林教育長

中学校指導のやり易さの意味からも考えていただきたい、そのような進め方でよろしいか。

○高木学校教育課長

中学で同じクラスになり、その中で差が出たりしないようにすることは重要なことである。そのように進めて努力していきたい。

○寺島委員

積極的に取り組むことは良く、先行実施を定着させるためには実施目標の2年間で数値ではなく、この辺まで目指そうというレベル的な目標が必要だと思う。例えば先生の努力目標を明示した支援プランで、2年間の実施した効果を上げる手立ての提案をしたい。文章でも構わなく、

先生方も目標に向かって3・4年生はこの程度、5・6年生はこの位のレベルでチャレンジしようというような目標があれば、現場でも進めやすいのではないかと。

○高木学校教育課長

貴重なご意見であるとともに重要な視点である。英語教科化推進委員会で検討していきたい。

○城下委員

昨日の新聞に英語教科化の内容が掲載されていて、先生の中には自信を持ってやれると思う先生と苦手意識を持つ先生とがまだまだ大勢いると思う。先生の意識の差が子どもたちの習得の差につながらないように、教育委員会の支援としての授業の支援や講演会、研修会をしっかりと実施していただきたい。小学校の授業でも、担任の先生が教えることの意味がある授業を拝見させていただいた。先生の苦手意識が子どもに伝わらないよう、英語嫌いや習得度の差があってはならないようにお願いしたい。

○平田委員

子どもたちの学年が上がっていく中で、英語力に差があってはならない。先生方の指導力向上のための支援、また、ALTの先生のあり方や地域ボランティアの方々との関わり方など細部にわたり検討いただき、外国語活動の一層の充実に向けて取り組んでいただきたい。

○小林教育長

さまざまな点で重要な課題を指摘していただいた。その点を注意しながらお願いしたい。

○全員了承

3 報告事項

(1) 学校教育関係寄付の状況（学校教育課）

○資料2により小林教育長（要旨）

矢島 康夫さんより、椅子を52脚いただいた。神川小学校へ寄贈することとなった。

○全員了承

(2) 「第12回人権を考える市民のつどい」の結果について（報告）（生涯学習・文化財課）

○資料3により唐澤人権同和教育政策幹説明（要旨）

平成29年10月12日（木）サントミュージゼ大ホールにて「第12回人権を考える市民のつどい」を約1500人（スタッフ含む）の方に参加していただいた。市民団体の活動アピールには、上田市社会福祉協議会ボランティア地域活動センターからパワーポイントによる活動紹介をしていただいた。講演には、水谷修講師による演題「あした笑顔になあれ」～夜回り先生、いのちの授業～講演会を開催した。内容については、横浜市の定時制高校で教員を務める傍ら始まった夜回り。繁華街を巡回しながら少年少女の更生や、自傷他害を繰り返す子どもた

ちの相談を不眠不休で続けてきた。という実体験に基づいた講演であり、参加された方々に青少年の現実と先生の体験をお聞きすることができた有意義な講演会であった。参加者からは、「水谷先生の話聞いて、人に対する思いやり、やさしさを実際にどう実践したらよいか、まずは自分から行動して環境を作っていきたい」。などの前向きな感想をいただき、参加して良かったと思っただけの講演になったと思う。

○ 全員了承

(3) 第45回ふれあい・人権の集いの開催について（丸子地域教育事務所）

○資料4により久保田丸子地域教育事務所長説明（要旨）

丸子・武石両地域教育事務所が合同で開催する、12月4日からの人権週間に合わせて昭和48年から続いている集いで、今回で45回目となる。内容については、丸子修学館高校と上田東高校の吹奏楽班の皆さんが合同で演奏していただき、日本手話ダンスクラブ「ほほえみ」の皆さんの踊りによるオープニングセレモニーとなっている。第1部は、人権啓発作品発表会として、丸子・武石地域の学校から応募があった人権作品の中から小学生、中学生、高校生が作文の発表を行う。第2部は、講師に女優・タレントの奥山佳恵さんをお招きして「生きてだけで100点満点」の演題で人権講演会を行う。奥山さんご自身のお子さんがダウン症ということで、日々の生活を伝えることでダウン症への理解を深めてもらいたく積極的に講演活動を行っている。また、第32回みんなの人権セミナーとして、第1講座は、ご自身が先天性心疾患患者である猪又竜氏による慢性疾患患者について、第2講座は、特定非営利活動法人ほっとプラス代表理事等を務める藤田孝典氏による高齢者の貧困について、第3講座は、NPO法人侍学園スクオーラ・今人理事長の長岡秀貴氏による若者たちのお話、4講座目には、依田窪勤労者部落解放学校の主催による同和問題について講演を行う。多くの皆さんにご参加いただきたい。

○全員了承

(4) 第28回ともしびの里駅伝実施報告（武石地域教育事務所）

○資料5により清住武石地域教育事務所長説明（要旨）

10月22日（日）に第28回ともしびの里駅伝大会を開催した。ゲストにはルートインホテルズ女子バレー部の皆さんをお招きして、参加者または地域の皆さんたちとふれ合い、85チーム、登録選手数789名の参加となった。当日は、大会が衆議院議員総選挙の投票日と重なり、会場や運営スタッフの人員不足など想定されていなかった課題に対し、選挙管理委員会の理解や実行委員の積極的なスタッフ・ボランティア確保など、市民協働による大会準備・運営が効果的に行われた。

○ 全員了承

(5) ㈱長野銀行からの寄付金受領（博物館）

○資料6 小林教育長（要旨）

（株）長野銀行より、博物館の本丸東虎口櫓門維持管理経費として現金10万円の寄付をいただいた。

○全員了承

(6) 行事共催等申請状況について（学校教育課・生涯・文化財課・スポーツ推進課）

○資料7 - 1 ・ ○資料7 - 2 ・ ○資料7 - 3

○全員了承

4 その他

(1) 公民館だより

・ 滝沢城南公民館長より公民館だよりの説明

○全員了承

(2) 「YAっHO！」の発行について（生涯学習・文化財課）

○全員了承

閉会

教育委員会会議規則第 21 条の規定により署名する。
